

KWASSUI
活水女子大学

2026-2030 中期教学改革戦略

共学化へのチャレンジ

～地域社会の公器として、新たな価値創造へ～

2026年3月2日 記者発表資料



1

KWASSUI

使命
Mission

その時代の社会が必要としている教育を実践

2

2

VISION

地域社会の公器として、教育・研究・社会貢献を通じ
人々の学び、文化、健康を支え、
地域と共に持続的な社会価値を創造し続ける知の拠点へ

3

3

活水女子大学の現状と建学の精神への回帰

地域に必要とされる大学であったか

定員割れの継続が示すもの

地域社会とのつながりの希薄化
地域課題解決への貢献不足

直面している厳しい現実

中学校募集停止という苦渋の決断
12,000名を超える反対署名運動
発表遅延・事前説明不足による混乱

気づいた深刻な問題

大学のレピュテーション(社会的評価)の低下
ステークホルダーとの信頼関係の毀損
地域における存在意義の希薄化

結論

建学の精神への回帰

大学の本来の目的 ——
ステークホルダーみなさま全体の価値を創造する
使命に立ち返り、存在意義を抜本的に問い直す

教育の質向上
×
地域連携の深化
×
ステークホルダーとの価値共創

4

4

外部／社会環境の変化と戦略の方向性



本学への重要インパクト

人口構造の激変	18歳人口の急減（2030年度105万人） - 若年層の首都圏・福岡圏への流出加速 - 地域の持続可能性の危機
地域課題の深刻化	- 社会的孤立の拡大（高齢者・子育て世代） - 自治体財政の逼迫 - 地域コミュニティの脆弱化
社会構造の流動化	- VUCA時代の不確実性 - 固定的キャリアから流動的キャリアへ - 価値観・働き方の多様化
デジタル変革の加速	- AI・DXの急速な進展 - デジタル格差の拡大 - 技術革新のスピード加速
企業・社会の構造化	- ジェンダー平等の推進 - ダイバーシティ重視の加速 - 高次スキル人材の不足
危機の常態化	- パンデミックリスク - 自然災害の頻発化 - 予測困難な危機への備えの必要性

地域・人々への要請

地域人材の育成

- 性別を問わない人材育成の要請
- あらゆる世代の可能性を活かす必要性
- 地域内人材の育成と活躍支援

地域課題解決への参画

- 住民の主体的な課題解決参画の要請
- 多様な主体との協働の必要性
- 持続可能な地域づくりへの貢献

変化への適応と自己変革

- 不確実性に柔軟に適応する力の獲得
- 継続的に学び、成長し続ける姿勢
- 価値を共創するコミュニティ形成

デジタル社会への適応

- デジタルリテラシーの獲得要請
- テクノロジー活用力の必要性
- 情報弱者を生まない支援体制

多様性の尊重と協働

- 異なる視点・価値観を尊重する姿勢
- 多様な人材との協働・共創の要請
- インクルーシブな社会づくりへの参画

地域のレジリエンス構築

- 危機に迅速に対応する体制づくり
- 困難から立ち直る力の醸成
- 地域全体の回復力・適応力の強化

5

5

外部／社会環境の変化と戦略の方向性



戦略の方向性

地域Well-Beingの実現へ

- 人々の心身の健康と幸福を支える教育・研究・社会貢献活動の推進

地域レジリエンス(回復力・適応力)の強化

- 危機に強く、変化に適応できる地域づくり支援、地域課題解決人材の育成

シビックプライド(地域への誇り)の醸成

- 地域文化の継承と新たな価値創造、地域資源の再発見と活用

多様性と包摂性の推進

- すべての人に開かれたエデュケーションの創出

共学化の必然性

1. すべての人に開かれた学びの拠点：地域Well-Being実現のため
性別・年齢を超え、地域全体の健康と幸福を支える教育・研究・社会貢献の場へ

2. 地域人材育成の最大化：地域レジリエンス強化のため

18歳人口減少時代、性別を問わず地域のすべての若者に学びの機会を提供し、地域課題解決に参画できる人材を育成する

なぜ
共学化
なのか

共学化は、地域社会の公器としての責任を果たし、地域と大学が共に持続可能な未来を創る必然的な進化と考えます。

3. 多様な視点の融合による地域価値創造：シビックプライド醸成のため
ジェンダー、世代、背景の異なる多様な視点が交わることで、地域文化や資源を多角的に捉え直し、新たな地域価値を創造

4. 時代の要請に応える大学への進化：多様性と包摂性推進のため
ジェンダー平等、ダイバーシティ推進という社会的要請に応え、地域社会の公器としての責任を果たす

6

6

共学化に向かう教学改革の3つの方向



方向 1

教育の質的転換

多様性が生む学びの深化

多様な視点が交わることで、より深い学びと成長を実現し、変化する社会で活躍できる人材を育成する

検討する取り組み例

多様な視点が交わる教育環境の構築
実践的な課題解決型学習(PBL)の強化
キャリア教育の充実
リベラルアーツ教育の深化

方向 2

地域連携の深化

地域と共に学び、共に創る

地域社会との協働を強化し、地域課題解決に貢献できる人材を育成するとともに、すべての世代が学べる生涯学習拠点へと進化する

検討する取り組み例

地域課題解決プロジェクトの拡充
社会人・リカレント教育の本格展開
活水ウェルビーイングセンターを核とした地域連携
産学官連携の強化

方向 3

学生支援体制の刷新

すべての学生が安心して学べる環境

多様な学生一人ひとりが、安心して学び、成長できる包摂的な教育環境と支援体制を構築する

検討する取り組み例

多様な学生に対応した支援体制の整備
きめ細かなキャリア支援
学生コミュニティの活性化
心身の健康サポート

※具体的な内容は2026年度から学内外との対話を通じて検討していきます。

7

7

2つの大きな変革



第1ステップ: 2027年4月

名称変更

活水女子大学 → 活水大学

すべての人に開かれた大学への第一歩
新ブランドスローガン・ロゴを開発・適用
現在の看護学科男子学生の就職活動を考慮した時期設定

第2ステップ: 2028年4月

共学化スタート・学部学科再編

全学部で男女共学開始

新しい教育プログラム(※**構想中**)
横断型教育(※**開発中**)
地域連携の本格展開

2026年度から準備開始

教員・職員・学生と共に、新ブランドスローガン・ロゴを開発

新しい「活水」を、共に創る

8

8

改革へのチャレンジ



2028年度共学化に向けて 共学化を成功させるため、2026年度から様々な検討を本格的に開始します。

多様な学生が安心して学べる環境づくり

教育プログラムの充実

地域との新しい協働の形

必要な支援体制の整備

対話と共創で進める改革

1 学内のリアルな声を活かす

教員・職員・学生と共に考える場を設け、新ブランドスローガン・ロゴも共に開発します。

2 透明性ある改革プロセス

検討の過程や進捗状況を定期的に公開し、開かれたプロセスで改革を進めます。

3 継続的な対話

地域・高校・保護者・卒業生との対話を継続し、共に新しい大学を創ります。

PROJECT DECLARATION

活水トランスフォーメーションチャレンジ 2026-2030

～対話と共創で、新しい大学へ～

透明性をもって改革を進め、皆様と共に新しい大学を創ります

9

9

伝統から革新へ



女子教育の強みを革新性へ昇華する共学化拠点へ、検討・準備を開始します。

活水女子大学

伝統

- リーダーシップの養成
- 個の尊重と成長
- 少人数教育
- 面倒見のよさ
- 女性の県内就職
- 地域への女性人材定着

※県内就職内定率1位

活水大学

改革によって生み出していきたい新たな価値

- 男子学生も含めた多様な個性の尊重
- ジェンダー平等精神の先進拠点へ
- 男女ともに一層の県内就職
- 地域への男女人材定着

革新・強化

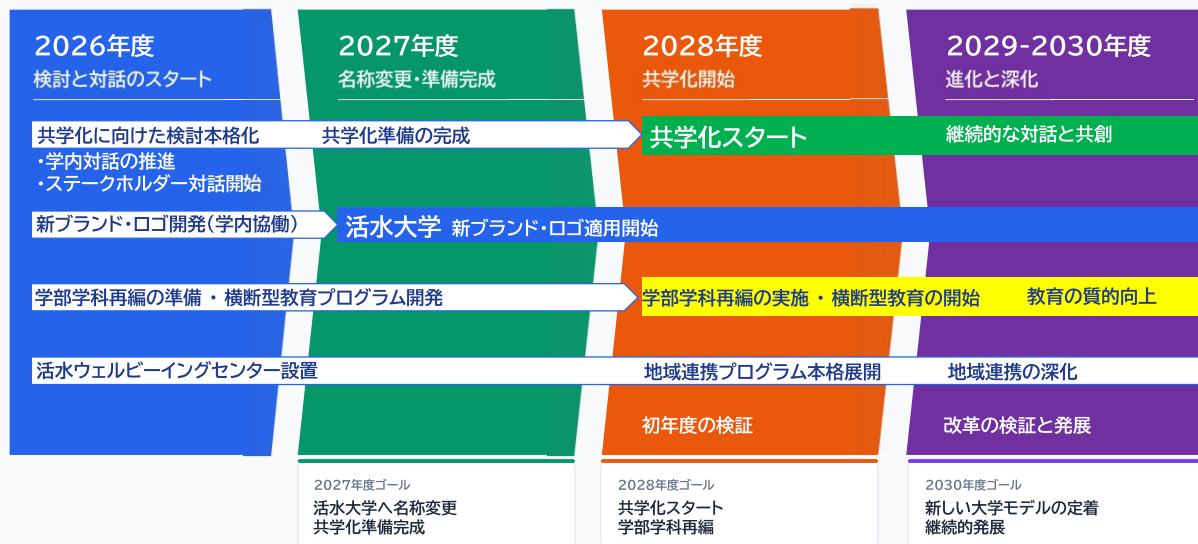
10

10

トランスフォーメーションチャレンジ 実現へのステップ



2026年度から段階的に改革を推進。2027年度名称変更、2028年度共学化、2030年度に向けて継続的な発展を目指します。



11

11

活水ウェルビーイングセンター 2026年度設置



健康で持続可能な社会を創造する知の拠点

目指すもの 誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせる 持続可能な地域社会

知識の量(到達型)

実践的な知恵(活用型)へ

特徴 地域の健康と生活における実践の場

生徒・学生が地域の現実の社会課題に直接向き合う、常設の実践拠点を東山手に設置します。

特徴 横断型の学びの実証

各学科(看護・子ども・生活デザイン・食生活健康・国際文化)の専門性を持ち寄り、協働して課題解決に取り組みます。

特徴 PBLの進化

一時的ではなく、継続的で地域社会に深く根ざした、インパクトのある実践活動へと進化させます。

■高校・大学・地域の連携拠点

多世代交流プロジェクトへの参画

地域課題をテーマにした探究活動

PBL(課題解決型学習)の実践フィールド

大学改革における活水ウェルビーイングセンター設置の狙いと効果

- ✓ ビジョンを具体化
「地域共創」や「PBL」が、具体的に実感できる活動として伝えます
- ✓ 改革の本気度を証明
物理的な拠点の創設により、本気の改革であることを示します
- ✓ 継続的な地域との協働
一時的なプロジェクトではなく、持続可能な仕組みを構築します

12

12